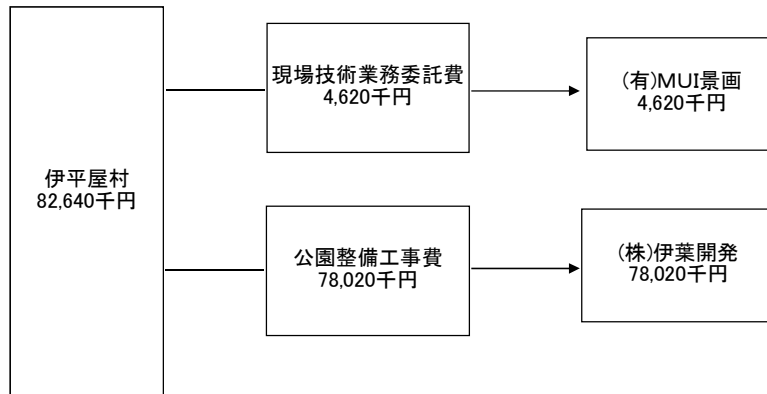


市町村名	伊平屋村							
令和3年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-④	公園修景等整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ			
担当部署名	建設課	事業実施(予定)年度	平成28年～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備			
事業内容	国指定を受けた念頭平松を中心とした、景観に配慮した公衆トイレ、休憩施設の整備を行い、快適性、利便性の向上とともに観光地としてのイメージアップ、伊平屋らしい原風景の創出を図る。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(令和 年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R3年度	R3年度(繰越)		
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		57,428		23,000	85,280		
			57,428		35,379	85,280		
			0		12,379	0		
				51,048			56,284	
	B. 執行済額 うち交付金充当額		57,428	51,048	35,379	85,280	56,284	
			6,380	51,048	35,379	28,996	53,644	
		5,104	40,838	28,303	23,196	38,745		
	次年度繰越額	51,048	0	0	56,284	0		
	執行率(%) (B/A)	11.1%	100.0%	100.0%	34.0%	95.3%		
予算の状況の説明	公園内の遊歩道整備にあたり、遊歩道の線形上にある既存の松について、当初は枝剪定を行い整備する予定であったが、樹木医の現場調査で松の状態がよくないことが判明し、線形の計画変更により不足の日数を要したため、現場管理および工事に係る56,284千円を令和4年度に繰り越した。							
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	公園整備工事の発注(広場工事・東屋撤去、駐車場・園路工事、修景植栽工事、園路仕上工事、防風緑陰植栽工事)		目標				公園整備工事の発注	
			実績				発注済み	
			目標					
			実績					
達成状況説明	令和3年度に公園整備工事の発注は行えたものの、線形の計画変更により不足の日数を要し令和4年度に繰り越すこととなった。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	公園整備工事の完了(広場工事・東屋撤去、駐車場・園路工事、修景植栽工事、園路仕上工事、防風緑陰植栽工事)		目標	( )	( )	( )	(公園整備工事の完了)	( )
			実績				工事完了	
	利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該施設のあり方についてアンケート調査により検証する。		目標	( )	( )	( )	(80%)	( )
			実績				82%	
	進捗状況説明	令和4年度に繰り越すこととなったが、令和4年6月に整備工事が完了し、7月から供用開始している。当該施設利用者にアンケート調査を実施した結果、利便性が確保されたという回答が全体の82%となり成果目標を達成することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風等の自然災害の発生など、公園周辺の清掃作業・念頭平松の現状維持・管理等を各関係者と連携し、観光客の満足度・利便性の向上を図る。</li> <li>・念頭平松へのアクセスにかかせない、クマヤー線道路は凹凸などにより車両の移動に影響が生じているため道路整備が必要となっている。</li> </ul>	<p>観光地イメージアップ推進事業の活用や公園周辺の景観維持など、行事やイベントの活用等により観光情報の発信と拠点地の周知等を図る。また、関係者と連携し念頭平松へのアクセスにかかせない道路整備を実施し、観光客および来島者の利便性と満足度の向上を図る。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・本村の念頭平松は「国指定の天然記念物」であり重要な観光資源であるため、当事業により観光客や公園利用者の利便性の向上や景観形成による周辺整備を行ったことで、観光地としての魅力を高めることができた。今後は適正な管理による観光地としての魅力の維持と、さらなる魅力向上を含めた周辺整備等について引き続き協議を行う。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
82,640	82,640	61,941	20,699	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模においては沖縄県土木建築部土木工事標準積算基準書に基づき積算したことから適正だったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものか等について完成時の支出等に関する書類の検査確認をし、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

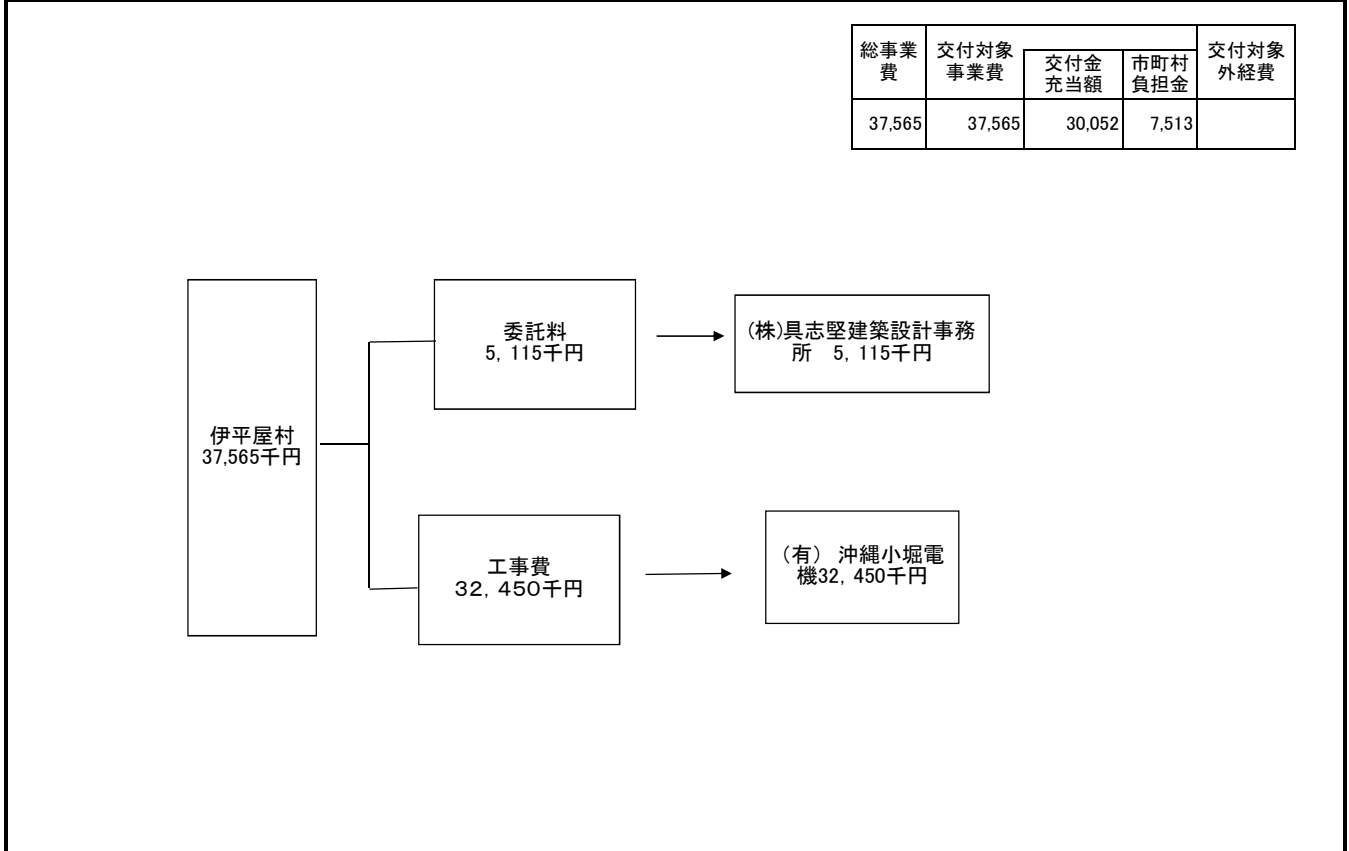
市町村名	伊平屋村						
令和3年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥	ポーターミナル機能強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
担当部署名	建設課	事業実施(予定)年度	令和2年~令和4年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備		
事業内容	島の玄関口である前泊港ポーターミナルの機能強化を行い、観光地にふさわしい景観及び施設の利便性向上を図り、施設利用者の満足度を向上させ、さらなる観光客誘致を目指す。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和5年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R5年度	
	(a)当初予算額	15,608	37,583				
	(b)予算現額	12,870	37,583				
	(c)増減額(b-a)	▲2,738	0	0			
	(d)繰越額			5,115			
	A.計(b+d)	12,870	37,583	5,115			
	B.執行済額	12,870	32,450	5,115			
	うち交付金充当額	10,296	25,960	4,092			
	次年度繰越額	0	5,115	0			
	執行率(%) (B/A)	100.0%	86.3%	100.0%			
予算の状況の説明	フェリーへの電源供給設備・ポーターミナルビルの電気設備・機械設備工事は完了したが、建築改修工事に伴う仮設建物設計に時間を要したため、設計業務は繰越となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	
	伊平屋村ポーターミナルビル等改修工事設計業務委託の実施	目標	(実施設計)				
		実績	実施設計完了				
	伊平屋村ポーターミナル電源供給改修工事	目標	( )	(工事完了)			
		実績		工事完了			
伊平屋村ポーターミナル仮設建設実施設計業務委託	目標	( )	(実施設計)	(実施設計)			
	実績		繰越	実施設計完了			
達成状況説明	フェリーへの電源供給設備・ポーターミナルビルの電気設備・機械設備工事は完了したが、建築改修工事に伴う仮設建物設計に時間を要したため、設計業務繰越になった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R3年度(繰越)	目標値(R5年度)
	伊平屋村ポーターミナルビル等改修工事設計業務委託の実施	目標	(実施設計)	(実施設計)	( )	( )	( )
		実績		実施設計完了			
	伊平屋村ポーターミナル電源供給改修工事	目標	(工事完了)	( )	(工事完了)	( )	( )
		実績			工事完了		
	伊平屋村ポーターミナル仮設建設実施設計業務委託	目標	(実施設計)	( )	(実施設計)	(実施設計)	( )
実績				繰越	実施設計完了		

【R5成果目標】 利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該施設のあり方についてアンケート調査により検証する。	目標	( )	( )	( )	( )	( 80% )
	実績	/				
進捗状況説明	令和3年度に電源供給工事は完了したが仮設建物実施設計業務委託においてテナント業者と調整に時間要し令和4年度に繰り越すこととなった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	ポーターミナルビル内部改修においては施設を利用しながらの工事は施設利用者の安全・安心の観点と工期の短縮の観点から非常に難しいことが予想されるため仮設(プレハブ)を検討し、予算化を図っていく。	令和4年度の改修工事へ向けテナント賃借者等も含めて協議を行う。

<b>今後の取り組み方針</b>	
ポーターミナルビル改修に伴い仮設建物工事発注行いポーターミナルビルの機能を仮設建物に移動しポーターミナル施設内電気設備のLED化、バリアフリー対応によるエレベーターの設置、環境衛生と利便性向上の観点からのトイレ及び待合室、荷物配送センター、屋外施設(赤瓦)の改修を行う。	

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



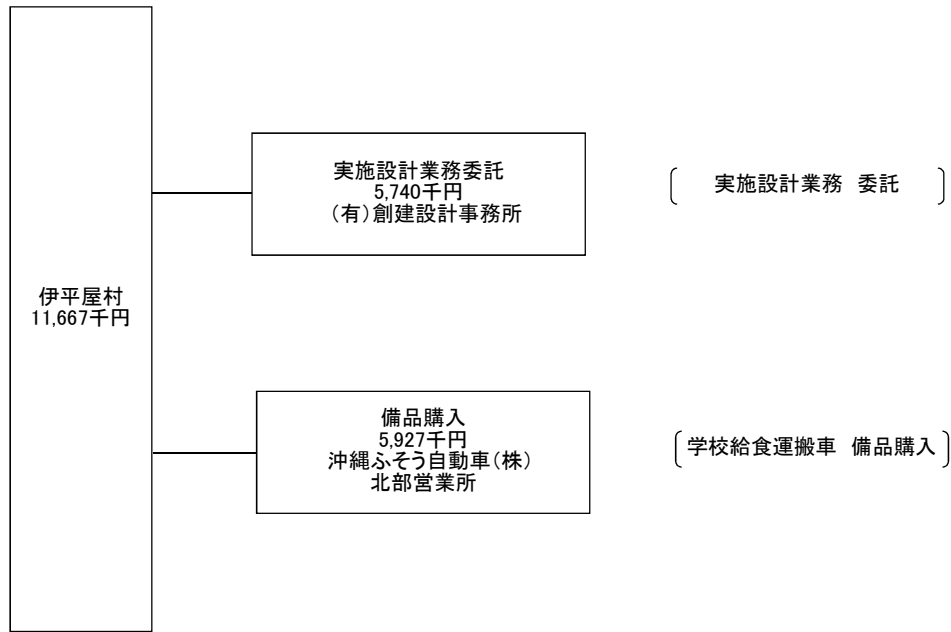
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模においては沖縄県土木建築部建築設計業務等積算基準に基づき積算したことから適正だったと考える。
	×	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について完成時の支出等に関する書類の検査確認をし、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊平屋村						
<b>令和3年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	3-⑥	学校給食機能強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-エ		
担当部署名	教育委員会	事業実施(予定)年度	令和3年~令和4年	沖縄振興基本方針該当箇所	時代の変化に対応する魅力ある学校づくりの推進 Ⅲ-9-(2)		
事業内容	既存の施設機能を強化し、徹底した衛生管理を行う事で、安心・安全で安定的な学校給食の提供と、施設従事者の就労環境改善を推進し、もって児童生徒の健やかな発達と教育振興及び自立的行政機能維持、拡充を推進する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R5年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R5年度	R6年度
		(b)予算現額	12,649				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額		5,928			
		A.計(b+d)	12,649	5,928			
	B.執行済額		5,740	5,926			
	うち交付金充当額		4,591	4,742			
	次年度繰越額		5,928				
	執行率(%) (B/A)		45.4%	100.0%			
	予算の状況の説明		給食配送車については、新型コロナウイルスの影響による半導体の供給不足、必要部品供給が原因で生産遅延が発生し、期限内の納車が困難となったことに伴い、不足の日数を要したため事業の一部を令和4年度に繰越した。				
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R3年度(繰越)	R5年度	R6年度	
	実施設計業務	目標	設計業務の実施				
		実績	設計業務の完了				
	給食配送車の整備	目標		1台			
実績			1台				
達成状況説明	施設の機能強化を実施するため、R3年度実施設計業務の完了を行なうことが出来た。また、新型コロナウイルスの影響により全国的な半導体不足から車両に必要となる部品の生産遅延が発生し、年度内の納車が困難となったことから事業の一部を令和4年度に繰越し給食配送車を1台整備した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	目標値(R5年度)
	実施設計業務	目標	( )	( 設計業務の実施 )	( )	( )	
		実績		設計業務の完了			
	給食配送車の納車	目標	( )	( )	( 1台 )	( )	( )
		実績			1台		
進捗状況説明	R3年度実子設計業務の完了。 R4年度に一部繰越により給食配送車を1台整備した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>現施設の整備を行なう際は、施設の運営を一次ストップするため給食の提供ができないことから、学校の夏休み期間に合わせて取組みを推進する必要がある。</p>	<p>教育委員会・各学校・保護者と連携し、夏休みに期間に施設整備に着手し、整備期間が延長することも想定し、学校就学中は家庭への弁当作りや給食の提供を外部に委託する等の対策を図る。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>・現施設は、ウエット方式であるため、調理時の室温が45℃、湿度が100%であるため、ドライ施設による室温25℃以下、湿度80%以下の就労環境に改善するための施設改修を行う。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
11,667	11,667	9,333	2,334	



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模においては沖縄県土木建築部建築設計業務等積算基準に基づき積算したことから適正だったと考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について完成時の支出等に関する書類の検査確認をし、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	